

令和五年度 近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞

未来の日本のために

育英西中学校 三年 山田 さくら

私は租税教室で税理士の方々の話を聞いて、税金はしっかり納めなければならないことを改めて実感しました。

税理士の方が税金の使われ方についてお話しされているとき、税金は私達学生の教育費に使われたり、救急車を無料で呼ぶことができるのもすべて税金のおかげだということ、納められる税金が減ってしまったら当たり前だと思っていたことが急にできなくなってしまうことを知りました。そして近年、日本の公債収入（借金）が増えていっていることを聞いて、自然災害が多いこの日本で、国のお金への負担が今後も増え続けてしまうと大変なことになってしまうと気づき、税金をしっかり納めなければならないと思いました。

しかし、税金をより多く納めるにはたくさん働いてお金を稼ぐ必要があります。かといって、税金を今より増やしてしまうと海外に移住する人なども増え、逆効果になってしまいます。そこで私は新しい税金を作れば良いと考えました。

新しい税金を作るといっても、国民全員が納めなければならない税金ではなく、現在の日本の税金のうちの一つである酒税のような、本来は買わなくても良いものにかかる税金を新しく作れば良いと思います。そうすれば、税金を払ってまでそれが欲しいと思う人だけが負担するだけで済むと思ったのです。そして、今回私は二つの税金を考えました。

一つ目はペット税です。この税はペットを買うときにかかる税金です。内閣府による世論調査によると三千人のうち約四割の人がペットを飼っていると回答しており、私の身の回りの人にもペットを飼っている人が増えると考えます。だから、今よりも多くの税金を集めることができると考えました。また、納められた税金は動物の保護や殺処分削減のためだけに使われるようにすると、ペットを買わなくなる人も多くはならないと思います。

二つ目は入国税です。この税金は海外から日本に入国するときにかかる税金です。コロナが収まり日本にやってくる観光客がだんだん増えてきているため、この税を作ることで税金が大幅に増えると考えました。しかし、あまりに税金が高くなってしまうと観光客が来なくなってしまうというデメリットがあるため、入国時ではなくホテルなどに泊まるときに税金がかかるなどして、もう少し値段を下げたりしなければなりません。

このように、工夫をすれば新しい税金を作ることで更に税金を集めることができます。そして、その方法は私が考えたものだけではありません。他の法律を守りながら新しいものを生み出すのは難しいことですが、私達のいない未来の日本のために、これから新しい対策をしていくべきだと私は考えます。